

学報

北海学園大学学報
発行・編集 北海学園大学
札幌市豊平区旭町4丁目
1番40号 〒062-8605
☎ 011(84)1161 FAX 011(824)3141
https://www.hgu.jp/
✉ gakuho@tyhr.hokkai-u.ac.jp
発行日(6月1日, 9月1日, 12月1日, 3月15日)
購読料 1部80円 年間320円
制作・印刷 株式会社人人社



令和4年度卒業証書・学位記授与式	2面
令和5年度副学長・学部長・研究科長・機関長	3面
北海学園大学研究助成事業報告⑥ 経済学部 大員健二教授	4面
研究室を訪ねて① 法学部 池田真歩准教授	5面
副学長・学部長に聞く!	6面
学園人脈記第23回 株式会社アリス・エッセイ 伊藤孝浩氏	7面
キャリア支援センターインフォメーション 2023年就職状況	8面

森下宏美教授学長就任

本年3月31日で退任された安酸敏真前学長のあとを継いで、森下宏美・経済学部教授が11代目学長として4月1日より就任した。



学長 森下 宏美

このたび、安酸敏真前学長の任期満了に伴い、4月1日より学長に就任いたしました。安酸前学長のもとで達成された諸成果を受け継ぎ、これからの4年間、みなさまのご協力とご支援のもとに大学運営に携わり、北海学園大学のさらなる発展に尽くす所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

学長選挙に臨むにあたっての「抱負」では、北海学園大学が「学術研究を通じて地域社会に貢献する大学、地域社会の担い手を育てる大学」として広く支持され、これまで以上に北海道民から必要とされる大学・選ばれる大学となることを目指したい、と述べました。本学は、研究・教育活動を通じて、人類の福祉

と北海道・日本・世界の未来形成に寄与することをミッションとして掲げています。私たちが生きるこの世界で起きている大きな変化を見据え、私たちが暮らす地域社会の諸問題と切り結ぶことがこのミッションを果たすことにつながります。必要とされる大学・選ばれる大学としての評価につながることを考えています。

今日、ICTやAIの発達により、デジタル化社会や知識集約型社会、あるいはSociety5.0への移行が語られています。グローバル化も、私たちの暮らしや仕事を大きく変えています。同時に私たちは、地球環境、格差と貧困、平和と人権、健康と福祉などをめぐる、日本社会として、そして地球規模で解決しなければならぬ諸課題に直面しており、そのための社会改革も急務です。北海道の地域課題もこのように無縁ではありません。このような変化の時代に

力にも注目が集まっています。このような状況に鑑み、創設以来70有余年にわたって北海道に根ざした教育を行ってきた大学として、本学が果たすべき役割の大きさを思わずにはいられません。本学は、道内最大の私立総合大学として、経済、経営、法、人文、工の分野で培ってきた知見と教育実践の豊富な蓄積を有しています。それらを北海道の地域社会の未来を切り拓くための総合的に高めることとして、地域の担い手を育てる教育、そして自治体や企業との連携を通じた地域の活性化に、独自の貢献をなしたいと考えております。簡単ではございますが、一言、学長就任にあたっての挨拶といたします。

◆略歴 業績等◆

【学歴】1983年福島大学大学院経済学研究科修士課程修了(経済学修士) 1986年北海道大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学(経済学博士) 1989年北海道大学経済学部助手 1999年北海道大学経済学部助教授 2006年教授 2009年経済学部学部長 2012年経済学部学部長 2016年経済学研究科長

【所属学会】経済学学会、経済理論学会、政治経済学・経済史学会、マルサス学会 2017年マルサス学会会長 【著書】『平岡祥孝・南島和久・宮地晃輔編「英国の諸相」(創成社、2005年)』

(共編著) Gilbert Racarelli, Masashi Izumo and Hiroshi Morishita (eds), *Malthus Across Nations: The Reception of Thomas Robert Malthus in Europe*, Edward Elgar, *America and Japan*, Edward Elgar Publishing, 2020(共著) 柳田芳伸・

あつては、新しい知識や技術を教授することは勿論のこととして、変化の本質や意味を冷静に見極め、変化に適切に対応できる深い専門的知識と豊かな教養、そして、他者と協力して問題解決に取り組む主体性の涵養が求められます。そのような教育の実現に向けて、一歩ずつ歩みを進めていきたいと思います。

私が北海学園大学に着任したのは1995年です。ちょうどその頃、北海道はひとつの転換点を迎えておりました。北海道の人口が約570万人のピークを迎えたのは1997年のことであり、その後減少に転じていきます。その前年の1996年には、高齢者人口が年少者人口を上回るに至りました。以後、人口減少、高齢化は急速に進行し、このままの傾向で進むと、2045年には、北海道の人口は400万人に、高齢化率は37.5%になるという推計されています。このことが北海道の社会や経済に及ぼす影響は計り知れませんが、一方で、地球温暖化問題やエネルギー問題、食糧安全保障問題などの解決において北海道が発揮しうる潜在



北海きたえーるで行われた入学式

◆略歴 業績等◆

【学歴】1983年福島大学大学院経済学研究科修士課程修了(経済学修士) 1986年北海道大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学(経済学博士) 1989年北海道大学経済学部助手 1999年北海道大学経済学部助教授 2006年教授 2009年経済学部学部長 2012年経済学部学部長 2016年経済学研究科長

【所属学会】経済学学会、経済理論学会、政治経済学・経済史学会、マルサス学会 2017年マルサス学会会長 【著書】『平岡祥孝・南島和久・宮地晃輔編「英国の諸相」(創成社、2005年)』

(共編著) Gilbert Racarelli, Masashi Izumo and Hiroshi Morishita (eds), *Malthus Across Nations: The Reception of Thomas Robert Malthus in Europe*, Edward Elgar, *America and Japan*, Edward Elgar Publishing, 2020(共著) 柳田芳伸・



祝辞を述べた栗山英樹特任教授

新入生のみなさん、北海学園大学へのご入学、おめでとうございます。教職員一同、心より歓迎いたします。北海学園大学は、70有余年にわたって北海道における高等教育を担ってきました。卒業生は9万人以上に及び、その活躍の場は各界に広がっています。北海道に根ざした大学として、地域社会の担い手を数多く輩出してきた歴史と実績に、私たちは大きな誇りを感じると同時に、持続可能な地域社会を作り上げていくために本学が果たすべき新たな責務を感じています。

森下宏美学長 入学式式辞(要旨)

よき人生とよき社会の実現を重ね合わせて

から、生涯にわたる交友関係も生まれ、それが、新しいことに挑戦する勇気を与えてくれるでしょう。そして、学問との出会いがあります。学問を通じて私たちは、個人的・直接的な体験の枠を超えて、人間や世界をより深く知り、その知識を共有することが出来ます。ここに、新たな可能性を切り拓く力が生まれます。学問は特別な人だけがやるものではなく、みなさんには、是非、学問をも生涯の友にしてほしいと思っています。

わたしは、みなさん一人一人が、北海学園大学での4年間を、自己のよき人生を築くための有意義な時間としてほしい、そしてその人生が、よき社会の

「キリスト教学」の探究
安酸敏真 理事長 著
キリスト教学と神学は、いかに関係があるのか。両者の関係と相違という問題を軸に、歴史的・人間的の確立と入念の再構築の必要性を説く。キリスト教学の第一人者による集成的論議。
定価 五、七二〇円税別

ことばの様相 現在と未来をつなぐ
島越部 富澤直人 小川芳樹 主編 佐藤陽介 ルプシヤ コルネリア 編
内藤永 経済学部教授 他共著
金子義明 東北大学教授の定年退職を記念し、親交のある研究者・教員、同僚が寄稿した論文集。理論と実践の両面から言語の特質に迫る本書は、これからの言語研究の新たな扉を開く。
定価 七、四八〇円税別

法学概説
神野潔 岡田順太 横大道 編 谷本陽一 法学部教授 他共著
社会が複雑・多様化する今日、「法」の基本的な知識・思考の習得が、一層重要となる。リベラル・アーツと教養といえるレベルで法学を学ぶ、社会で活かすことをイメージできる概説書。
定価 三、〇八〇円税別

High-Energy Chemistry and Processing in Liquids
Yoshie Ishikawa, Takahiro Nakamura, Morihisa Saeki, Tadatake Sato, Teruki Sugiyama, Hiroyuki Wada, Tomoyuki Yatsuhashi 編
藤原英樹(工学部教授) 他共著
藤原英樹教授は第6章を担当。様々なタイプのレーザー加工技術を用いたランダムレーザーの作製と制御技術について紹介する。
US\$ 169.99

ドイツ行政法の基礎
ヤン・ツイコー 著 大西有二 法学部教授 訳
本書はドイツ(公法)憲法・行政法の教科書 [Grundriss des öffentlichen Rechts] の「行政法」編を日本国内で初めて訳したもので、多岐にわたる領域をカバーするドイツ行政法の入門書。
定価 五、〇六〇円税別

医師偏在と地域経済 北海道からみた過疎医療問題
清水芳行 開発研究所客員研究員 著
いま、多くの過疎地域の医療は崩壊の危機に瀕している。医療政策だけでは解決できない医師偏在問題、人口の流動や地域産業の動態などを分析し、地域経済の視座を解き明かす。
定価 四、七三〇円税別

超越への親密性 ―もう一つの日本文学の読み方―
テレンゲト アイトル(人文学部教授) 著
マテリアリズム(物質主義)に支配された文学論を踏まえ、プラトン、アリストテレスから歌仙、随外、三島まで、古く東西のあらゆる題材を駆使して「世界の見方」を愛する親密的文学論。
定価 七、一五〇円税別

卒業証書・学位記授与式

令和4年度卒業証書・学位記授与式が3月21日、北海道立総合体育センター「北海きたえーる」にて執り行われた(9月期は令和4年9月30日挙行)。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、卒業生、修了生、教職員のみで実施された。安酸学長は式辞で「現代は



卒業証書・学位記の授与

将来の予測が困難な時代だが、心豊かな人生を歩まれたいと感じていると挨拶した。

令和4年度 卒業生数/修士・博甲・博乙・法務博数

Table showing graduation statistics for various departments and faculties in the 4th year of Reiwa. It includes columns for department, faculty, and graduation counts for different degrees.

学長賞受賞

令和4年度学長賞の表彰が3月21日、卒業証書・学位記授与式終了後に行われ、在学中に司法書士試験に合格した法学部法律学科4年・近藤稀嵐さんが受賞した。学長賞は、体育・文化活動等において特に顕著な成績を収めた学生に授与される。



学長賞を受賞した近藤稀嵐さん(左)

寄付のお礼と監査報告

教育振興会に令和4年度も多くの個人や法人、団体から寄付をいただきました。皆様の思いを大切にしまして、衷心よりお礼申し上げます。令和4年度寄付者ご芳名と、教育振興資金収支決算報告書および監査報告書は次の通りです。

寄付者ご芳名

個人(敬称略) 10万円未満 浅野高宏、安達昭弘、飯野海彦、上原雅夫、内田和浩、大橋孝行、加藤正晴、木村剛、許士達広、佐々木啓明、佐藤剛、芝山泰淳、杉本圭吾、杉山匡、竹田直弘、堂柿栄輔、仲丸英起、濱田武士、穂貫俊文、福原正己、増地あゆみ

Financial statement table for the 4th year of Reiwa, showing income and expenses for the education promotion fund. It includes a summary table and a detailed breakdown of income and expenses.

水野谷武志、宮入隆、山崎省一、渡辺敦、他匿名2名

山田誠治 50万円以上100万円未満 関寛、金頼非公開

他匿名6名 企業・法人・団体 10万円以上50万円未満 新太平洋建設株式会社、北海学園大学、学園大学、(令和4年度寄付金合計) 3,330,000円

名誉教授の称号授与

本年3月31日付で退職された上野之江先生(元法学部教授)、寺田吉孝先生(元人文学部教授)、米坂スザンヌ先生(元人文学部教授)、岡崎敦男先生(元工学部教授)の永年にわたる教育研究、大学運営、社会活動の功績に対し4月1日、本学第三会議室で、名誉教授の称号が森下宏美学長より授与された。



名誉教授称号記授与式

名誉教授称号記授与式にて、前列左から寺田吉孝名誉教授、安酸敏眞理事長、米坂スザンヌ名誉教授、森下宏美学長、上野之江名誉教授。後列左から鈴木美佐子事務センター長、天笠道裕経営学部長、小松かおり人文学部長、元木邦俊工学部長、石井健経済学部長、若月秀和教授、魚住純教授。

未来展望

法学部准教授 高橋美野梨 北極は、全世界の平均と比べて約4倍の速さで温暖化が進行している。水温上昇や海水変動は、食物網の動態や生物生産に多大な影響をおよぼしている。それは自ずと、生きとし生けるものの存在を足元から脅かすことにもつながっている。こうした複合的な危機に直面する北極は、いかにして、緩和と適応のバランスをとりながら、脱炭素社会への移行(グリーン・トランジション/トランスフォーメーション)を果たすのか。ウクライナ侵攻を契機として、北極圏の重要性が再認識されている。このように、北極圏は、地球の未来を左右する重要な地域である。本学は、2023年3月1日にベトナム・日越大学と学術協力協定を締結しました。日越大学は、日本とベトナムの友好と結束の象徴として設立された国家大学です。この協定は、北海学園大学と日越大学双方のニーズに基づいて、教職員や学生の交流、共同研究活動、その他の関連する共同教育・研究プログラムの開発・実施といった学術交流を可能とするもので、具体的な交流活動については今後両大学間で協議されていきます。

北極版ダボス会議 北極サークル

グローバル・アーキティックという視点 話には、北極サークルの屋台骨を支えている。北極圏には、グリーン・トランジションという視点がある。これは、社会経済および生態系を積み上げていくと同時に、全体としてグローバルとの結び目を焦点化する。北極圏の存在意義がある。

同窓会・豊平の生協食堂で「100日満腹丼」提供 豊平会は学生の応援を目的に、5月から6月第1週にかけて週一回(計5回)、豊平キャンパス生協食堂において「豊平会100日満腹丼」を提供している。各日程300食限定で、6月2日(金)が最終日となる。

計報 元経済学部教授で名誉教授の瀨川修二先生(74歳)が令和5年3月31日に逝去されました。謹んで哀悼をお祈り申し上げます。

瀨川修二先生(経歴) 昭和49年北海道大学大学院文学研究科独学専攻修士課程修了(文学修士)、昭和51年北海道大学大学院文学研究科独学専攻博士課程単位取得満期退学、昭和51年本学教養部講師、昭和59年同助教授、平成8年同教授、平成10年同共同教育・研究センター1教授、平成13年同経済学部教授、平成29年3月退職。

上野之江 名誉教授

【略歴】昭和59年アメリカ合衆国インディアナ州立大学大学院言語学専攻修士課程修了(応用言語学修士)、昭和60年小樽商科大学言語学センター1助手、平成4年本学教養部講師、平成7年同助教授、平成10年本学法学部助教授、平成14年同教授(英語ライティング・IIなど担当) 【主な著書・論文・発表等】 研究発表:「English Only Camp, Quasi-Immersion Program」論文:「Corpus-based analyses of e-mail by Japanese college students.」(共著) [JACET BULLETIN (大学英語教育学会紀要)](査読論文)、P-CHECK: Peer Feedback を利用した発声練習プログラムの効果について(共著)

寺田吉孝 名誉教授

【略歴】昭和55年大阪外国語大学大学院外国語学専攻ロシア語専攻修士課程修了(文学修士)、昭和56年大阪府立大学文学部専攻修士課程修了(文学修士)、昭和61年津田学園田中高等学校教諭、昭和61年津田学園田中高等学校教諭、平成4年本学教養部講師、平成8年同助教授、平成10年本学共通教育・研究センター1教育研究部助教授、平成13年本学経済学部教授、平成16年本学経営学部長

米坂スザンヌ 名誉教授

【略歴】昭和58年サンフランシスコ州立大学大学院英語学専攻修士課程修了(英語学修士)、昭和61年札幌大学女子短期大学部英文学専攻助教授、平成2年同助教授、平成4年本学教養部助教授、平成5年本学人文学部英語学専攻助教授、平成14年同教授(英語音声学など担当)、平成17年修士課程退学(英語研究特許講義、演習など担当) 【主な著書・論文・発表等】 研究発表:「Research-based Pronunciation Teaching: How and Why」論文:「Feedback on local intelligibility by same-L1 learners: Face-to-face or computer-mediated?」[Asynchronous online peer judgments of intelligibility: simple task, complex factors.]

岡崎敦男 名誉教授

【略歴】昭和56年京都大学大学院理学研究科博士前期課程修了、昭和60年京都大学大学院理学研究科博士後期課程退学(理学博士)、昭和61年北海道大学教養部講師、平成6年同助教授、平成10年北海道大学工学部助教授、平成16年同教授(宇宙科学、宇宙科学など担当)、平成30年令和6年入試部長 【主な著書・論文・発表等】 論文:「Long-term V/R variations of Be stars due to global one-armed oscillations of equatorial disks」共著 [A natural explanation for periodic outbursts in Be/X-ray binaries] 共著 [Origin of two types of X-ray outbursts in Be/X-ray binaries. I. Accretion scenarios]

学術協力協定締結

ベトナム・日越大学と北海学園大学 学術協力協定締結 本学は、2023年3月1日にベトナム・日越大学と学術協力協定を締結しました。日越大学は、日本とベトナムの友好と結束の象徴として設立された国家大学です。この協定は、北海学園大学と日越大学双方のニーズに基づいて、教職員や学生の交流、共同研究活動、その他の関連する共同教育・研究プログラムの開発・実施といった学術交流を可能とするもので、具体的な交流活動については今後両大学間で協議されていきます。

法学部准教授 高橋美野梨

2023年3月4〜6日、東京・虎ノ門ヒルズフォーラムにて、「北極サークル(Arctic Circle)」が開催された。北極海沿岸に限らない多様な地域から、政府要人、有識者、先住民等が一堂に会し、北極の諸課題について対話する世界最大級のプラットフォームである。その目的に照らして、「北極版ダボス会議」と呼ばれている。北極は、全世界の平均と比べて約4倍の速さで温暖化が進行している。水温上昇や海水変動は、食物網の動態や生物生産に多大な影響をおよぼしている。それは自ずと、生きとし生けるものの存在を足元から脅かすことにもつながっている。こうした複合的な危機に直面する北極は、いかにして、緩和と適応のバランスをとりながら、脱炭素社会への移行(グリーン・トランジション/トランスフォーメーション)を果たすのか。ウクライナ侵攻を契機として、北極圏の重要性が再認識されている。このように、北極圏は、地球の未来を左右する重要な地域である。本学は、2023年3月1日にベトナム・日越大学と学術協力協定を締結しました。日越大学は、日本とベトナムの友好と結束の象徴として設立された国家大学です。この協定は、北海学園大学と日越大学双方のニーズに基づいて、教職員や学生の交流、共同研究活動、その他の関連する共同教育・研究プログラムの開発・実施といった学術交流を可能とするもので、具体的な交流活動については今後両大学間で協議されていきます。

未来展望

法学部准教授 高橋美野梨 北極は、全世界の平均と比べて約4倍の速さで温暖化が進行している。水温上昇や海水変動は、食物網の動態や生物生産に多大な影響をおよぼしている。それは自ずと、生きとし生けるものの存在を足元から脅かすことにもつながっている。こうした複合的な危機に直面する北極は、いかにして、緩和と適応のバランスをとりながら、脱炭素社会への移行(グリーン・トランジション/トランスフォーメーション)を果たすのか。ウクライナ侵攻を契機として、北極圏の重要性が再認識されている。このように、北極圏は、地球の未来を左右する重要な地域である。本学は、2023年3月1日にベトナム・日越大学と学術協力協定を締結しました。日越大学は、日本とベトナムの友好と結束の象徴として設立された国家大学です。この協定は、北海学園大学と日越大学双方のニーズに基づいて、教職員や学生の交流、共同研究活動、その他の関連する共同教育・研究プログラムの開発・実施といった学術交流を可能とするもので、具体的な交流活動については今後両大学間で協議されていきます。

令和5年度 副学長・学部長・研究科長・機関長

副学長 須田 一弘 文学部教授

学部長 元木 邦俊 経済学専攻

学部長 天笠 道裕 法学部

学部長 鈴木 美佐子 文学部

学部長 丸山 治 法学部

学部長 山田 俊郎 工学部

工学部 元木 邦俊 教授



エクス=アン=プロヴァンス市庁舎

在外研修 仲松 優子

フランス/エクス=マルセイユ大学 人文学部教授

2023年4月1日から2023年3月まで、フランスのエクス=マルセイユ大学に招聘され、フランス近世および近代史の研究に従事することができました。

南フランスにおける歴史研究
フランス語圏で最大規模の大学であるエクス=マルセイユ大学に、直接の学術指導を受け持っていたが、特に彼女の研究グループの方々に、大学の垣根を越え、たかたかでも研究交流を行うことができた。また、在外研修における研究成果として、同大学で研究報告を行う機会もいただき、大変有益な経験となりました。



エクス=マルセイユ大学 人間科学地中道館

北海学園学術研究助成事業報告(25)

研究課題

中小企業振興基本条例に基づく施策展開の現状と課題

経済学部教授 大貝 健二



1980年広島県広島市生まれ。京都大学大学院経済学研究科経済動機分析専攻、博士(後期課程)単位修得。博士(経済学) (京都大学)。地域経済の活性化とは何かを現場目線から考えている。主な業績には、関智宏編著(2022)『新型コロナウィルス感染症と中小企業』同友館(共著)、立川淳哉・長尾謙吉・三浦純一編(2021)『社会連帯経済と都市・フランス・リールの挑戦』ナカニシヤ出版(共著)などがある。

コロナ禍の自治体でヒアリング調査

地域の特徴を鑑みて、施策を策定し実施する責務がある。位置づけられた。これにより、地方自治体が独自の施策を展開する可能性が生まれ、その手法として条例を制定する動きが広がったのである。

約200社の企業訪問を展開している。こうした企業訪問を通じて「小回りの利く支援策」が必要であることがわかった。丸亀市産業振興支援補助金を独自施策として展開している。2014年に条例を制定した宮城県白石市では、試行錯誤を繰り返しながら、地域内の第一次産業の価値を高めること、新たな地

経営学部講師 村上 始

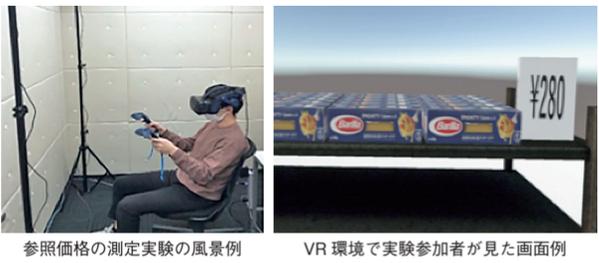


世の中にはいろいろなサービスや商品がある一方で、日本国内に絞れば、およそ価格は円のみで表示されています。それでは、普段のお買い物で、100円なら安い、5000円なら高いというように価格を絶対的に評価しているのでしょうか?

その100円は本当に安い?

んでいるなかに1000円のお弁当があれば安いと感じる一方で、500円のお弁当のなかで1000円のお弁当があったら高いと感じる。このように、同じ商品、価格であったとしても、価格に対する感じ方は絶対的ではなく、相対的であることがわかります。

例えば、タイムセールの総菜を高く感じる。つまり、参照価格が値引き後の価格に近づいてきたらと考えます。このように値引きには困った面もあります。それでは、参照価格をあまり下げずに値引きする方法はないのでしょうか。昨年度、私と早稲田大学の研究グループは、価格の変動のさせ方によって参照価格を安定させられると考え、VR環境で参照価格を測定する実験を行いました(新



参照価格の測定実験の風景例 VR環境で実験参加者が見た画面例

保他、2023、第18回日本感性工学学会春季大会。またこの研究は発展途上ですが、いずれ参照価格をあまり下げない値引きの仕方などについて示唆を与えられ

北海学園大学出版会 学術書3冊刊行

北海学園大学出版会から学術書3冊が刊行された。1月15日にヤン・ツーコー著、大西有二(法科大学院教授)訳『ドイツ行政法の基礎』清水芳行(開発研究所客員研究員)著『医師偏在と地域経済—北海道からみた過疎医療問題』の2冊が、3月31日にテレントアイトル(人文学部教授)著『超越への親密性—もう一つの日本文学の読み方—』が刊行された。



『ドイツ行政法の基礎』 ヤン・ツーコー 著 大西有二 訳

『医師偏在と地域経済—北海道からみた過疎医療問題—』 清水芳行 著

『超越への親密性—もう一つの日本文学の読み方—』 テレントアイトル 著

ドイツ公法(憲法・行政法)の教科書「Grundkurs Öffentliches Recht」のうち、行政法編を日本国内で初めて全訳した、ドイツ行政法の「入門書」。

多くの過疎地域の医療が崩壊の危機に瀕している「医師偏在問題」を、人口の流動性や地域産業の動態などを分析し、地域経済学の視点で解き明かす。

プラトン、アリストテレスから漱石、鴎外、三島まで。マテリアリズム(物質主義)に支配された昨今の文学研究に一石を投じるダイナミックな比較文学論。

北海道河川財団 寄付講座 工学部に開設

清水康行 特任教授 着任

令和5年4月1日付で、北海道河川財団による寄付講座「北海道河川財団寄付講座環境防災工学研究室」が設置され、北海道大学で教授を務めていた清水康行先生が特任教授として着任した。

「第30回日本文学の挑戦」が4月16日、紀伊國屋書店札幌本店で開催された。講師は昨年4月に刊行された『サイボーグ—人工物を理解するための鍵—』の著者、人文学部・柴田崇教授。

サイボーグは人体拡張のテクノロジー? また、サイボーグ論に関連して対話型AI(人工知能)「チャットGPT」にも言及。機械が人間の仕事を代行することの有用性と問題点を指摘した。「サイボーグの本当の問題は、人間が人工物に支配されることではない。人間が人工物の未知の効果を議論せず、拡張的側面のみを強調することです。よく議論し考えることを本来はすべきです」。



人文学部 柴田崇教授

研究室の窓

工学部准教授 安藤 直哉



突然ですが、みなさんは社会環境工学科ではどのような研究に取り組んでいるかご存じでしょうか。多分、殆どの方はご存じないのではないかと思います。この度は、研究内容に関することをお伝えできる機会を頂きましたので、社会環境工学科の研究内容がどの様に社会貢献

牛の糞尿の有効活用と水道水源保護 両立に向けた基礎研究

近年、北海道では酪農家の戸数が減少する一方で、1戸当たりで飼育する乳牛の頭数が増加し、多くの糞尿が1地域に集約する傾向があります。多量に発生する糞尿をそのままの状態では処理できない方法として、メタン発酵を利用したバイオガスプラント(BGP)が創エネの観点からも注目されてきています。メタン発酵時に発生する消化液は、リン、窒素、カリウムを含む肥料原料を海外からの輸入に依存しており、消化液の肥料としての利用価値は十分にあると考えられています。しかしながら、消化液は90%以上が水分であり、長距離運搬にはコストがかかるため、BGP周辺の耕作地に施肥されることほとんどです。必要に応じて処理システムの開発につなげることを目的とした基礎研究を行っています。



研究室を訪ねて Vol.11

法学部政治学科 池田 真歩 准教授 【日本政治史】

東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻博士後期課程修了。博士(文学)(東京大学)。研究テーマは、戦前日本の議会・政党・地域。

本学で活躍する専任教員の研究を、その人となりとともに紹介する「研究室を訪ねて」...

この時代の東京の議会在私にとって面白いのは、その内外で生じた様々な衝突や葛藤に、近世・近代移行期の時代性が凝集されているからなんです。

「東京市街鉄道」騒動もそうですが、一見すると単なる混乱とか、政治家の力量不足が招いたことのように見えても、その事態の詳細のなかにある時代の政治的あり方の特徴が見出せる。

明治期の東京市会を揺るがした大騒動を「史料」から掘り起こす

「劣化」を怒る言説自体は、実は百年以上前からあったということがある。過去の市政批判と現在の都政批判がどう同じでどう違うかを考えることは、絶望や熱狂にのみこまれないで、現在の政治をどう動かそうか



大学3年生。日本史学研究室の「巡見」(史跡などの見学を兼ねた旅行)で(一番手前が池田先生)。

19世紀末の東京では、市内の交通手段が一新されようとしていた。目抜き通りに電車を走らせることが、技術的・経営的に可能となったからである。

「劣化」を怒る言説自体は、実は百年以上前からあったということがある。過去の市政批判と現在の都政批判がどう同じでどう違うかを考えることは、絶望や熱狂にのみこまれないで、現在の政治をどう動かそうか

き出すわけですが、だからこそ政治を刷新せよといったスローガンも力をもち、運動を勢いづけました。不振批判と刷新運動が繰り返された東京の歴史は停滞しているようにも見えますが、この繰り返しのよってこそ政治的エネルギーの発信源であり続けてきたともいえます。

自著を語る 33 法学部教授 韓永學 日本版プレス評議会の創設に向けて

経営学部 佐藤大輔ゼミ 北海道ろうきんとのプロジェクト成果報告

今年も学園オリジナルワインが完成 学園オリジナルワイン3種が完成 赤ワインには新しい酵母も使用



同窓生の声
函館税関
たからじま きょうこ
寶嶋 響子
経営学部経営学科
令和4年度卒・17期生

卒業論文が査読誌『港湾経済研究』に掲載

コロナ禍でも充実の大学生活

今年3月に経営学部を卒業した寶嶋響子さんの卒業論文「ロシア極東中古車市場における日本車の優位性」が、査読誌『港湾経済研究』第61号に掲載された。...

キャリア支援センター INFORMATION < 2023年就職状況 >

2023年3月卒業生の就職状況がまとまりました。就職率は表1のとおりで、昨年を上回る結果となりました。...

企業・業界研究しっかりと

アンケート結果によりますと、「もう一度就職活動をする」という回答が最も多かった。...

学長室訪問
4月6日 北海道大客室長 岡田 誠
4月7日 レッスン大客室長 藤原 隆
4月10日 株式会社代表取締役 佐藤 隆
4月11日 北海学園大学同窓会長 長岡 寛
4月12日 北海学園大学同窓会長 長岡 寛

2023年度 進学相談会

Table with columns for date, location, and venue for the 2023 academic year admission consultation event.

表1 2023年3月卒業生就職状況

Table showing job status for graduates in March 2023, categorized by faculty and gender.

表2 2023年3月卒業生 業種別就職先 (抜粋)

Table listing various employment sectors and companies for graduates, including public service, construction, and retail.

OPEN CAMPUS 2023

春のオープンキャンパス
6/18 豊平キャンパス(経済学部、経営学部)
6/25 豊平キャンパス(法学部、人文学部)
夏のオープンキャンパス
8/11 豊平キャンパス(法学部、人文学部)
8/12 豊平キャンパス(経済学部、経営学部)
秋のオープンキャンパス
10/1 豊平キャンパス、山鼻キャンパス
2部オープンキャンパス
9/30 豊平キャンパス

2023年度 ミニオープンキャンパス

北見 7/22 北見市民会館
釧路 7/22 釧路市生涯学習センター
旭川 7/23 旭川北洋ビル
帯広 7/23 とちかちプラザ
函館 7/29 電田交流プラザ
室蘭 7/30 生涯学習センター ぎらん

2023年度 大学院進学説明会

経済学研究科・経営学研究科・法学研究科・文学研究科
第1回 7/1 13:00~14:30
第2回 12/2 豊平キャンパス6号館3階
工学研究科
第1回 7/7 14:30~15:30
第2回 12/8 山鼻キャンパス3号館2階

2024年度 北海学園大学 編入学・転入学試験日程

Table detailing the schedule for 2024 admission and transfer exams for various departments.

2024年度 北海学園大学大学院 入試日程

Table detailing the schedule for 2024 graduate school entrance exams.